

平成30年度病害虫発生予察指導情報（ブロッコリー黒すす病）

平成30年9月21日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

9月20日現在、県中部の一部ほ場でブロッコリー黒すす病の発生が見られます。
今後の気象条件によっては発病が急増するおそれがありますので、ほ場の観察を徹底し、計画的な防除を行いましょう。

2 情報の根拠

(1) 本年の現地ブロッコリーほ場において、ブロッコリー黒すす病の発生が確認された（発生ほ場率*：14.3%）。

*9月20日に巡回調査を実施。中部3ほ場、西部4ほ場の計7ほ場、25株/ほ場の見取り調査。

(2) 本病は、25℃付近が発病適温で降雨と強風により発病が多くなる。

(3) 向こう1か月の気象予報は、本病の発生に好適で今後の発生増加が懸念される。

3 防除上注意すべき事項

(1) 出蕾前に葉において発生すると、花蕾にも発生する可能性が高くなるため、葉の発病に注意する。

(2) 現在、ブロッコリー黒すす病に適用のある薬剤は、表1のとおりである。

(3) 農薬使用に当たっては、使用基準を遵守するとともに、適正使用、事故防止に努める。

表1 ブロッコリー黒すす病に登録のある薬剤

農薬の名称	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	有効成分	FRACコード
アフェットフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ペンチオピラド	11
アミスター20フロアブル	2000倍	収穫3日前まで	3回以内	アゾキシストロビン	7
シグナムWDG	1500倍	収穫14日前まで	1回	ピラクロストロビン・ ボスカリド	11 7

登録内容は平成30年9月12日現在